

JD 共済

No.69

発行日 2021年8月2日

〒939-8072 富山県富山市堀川町278
ジェイ・ディ共済協同組合

TEL.076-421-2221 (大代表)
FAX.076-425-9561
URL <https://jd-kyosai.com>
E-mail info@jd-kyosai.com

第19回 通常総代会開催

6月20日(日)、「ジェイ・ディ共済協同組合 第19回 通常総代会」を品川プリンスホテル(東京)において開催いたしました。

今年の総代会も、昨年同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から、規模縮小および時間短縮で行い、出席者は全員マスクを着用し、また、会場入口での体温測定および消毒液の設置など、万全の体制で臨みました。以下に、丹澤理事長からの「2020年度の事業運営状況の報告」および来賓としてご臨席くださった株式会社エフエム大阪 代表取締役社長 西山勝様からのご挨拶の概要をお伝えします。

■ 逆境を乗り越え、さらに盤石な組織へ

本日は、長引いているコロナ禍の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

昨年から、酒類を提供している飲食店が営業自粛や時短営業を行っており、そのために組合員の皆様が大きな打撃を受け続けていることに大変心を痛めています。警察庁発表のデータによりますと、昨年1年間で、全国で事業者は約200社減り、随伴車は約3,600台減少、従事者は約8,000人減少しました。もちろん、減少した原因はコロナの影響だけではありませんが、その影響は非常に大きいと思います。このような状況のもと、本組合の2020年度決算は、登録台数の減少に伴って対前年度で減収となりましたが、最終的には増益とすることができました。コロナ禍においても、懸命に努力し事業を継続されている組合員の皆様に、この場をおかりして、心から感謝申し上げます。

ほとんどの業界の事業者がコロナ禍で厳しい状況におかれています。しかし、私は、今こそ、事業者としての真価が試されていると思いますので、この逆境を乗り越えて、JD共済をさらに盤石な組織にできるよう努力してまいります。

■ 業界団体と連携し、組合員様を支援

運転代行業は、昨年4月、全国に緊急事態宣言が出されたときに、国から事業の継続を要請され、国民の生活に必要な不可欠な業界であるとい



理事長 丹澤 忠義

うお墨付きをいただいた業種のひとつです。それにもかかわらず、手厚い支援がない状況でしたので、組合員の皆様の窮状を、業界団体である公益社団法人全国運転代行協会へ訴え、同協会から国や地方自治体に対して代行業者の支援を嘆願してもらえよう、本組合から度々要望いたしました。同協会でも事業者の厳しい状況を把握しており、2020年度は2回にわたり、代行業者に対する支援金給付などの緊急要望書が、行政へ提出されました。今年度に入ってから、同協会は、地方創生臨時交付金を活用した運転代行業支援の陳情を5月に行っており、本組合からの後押しによるこれらの陳情によって、幾つかの自治体では、代行業が事業継続支援金の対象業種として追加されるなどの成果が